

富津市国民健康保険事業運営協議会会議録

1	会議の名称	令和5年度 第2回富津市国民健康保険事業運営協議会
2	開催日時	令和5年8月9日(水) 午後2時00分～午後2時45分
3	開催場所	富津市役所 2階 第3委員会室
4	審議等事項	議題 (1) 令和4年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について
5	出席者	委員 齊藤千代子 平野順子 齋藤茂 高梨廣 熊切篤 大島拓二郎 福原敏夫 平野英男 福田好枝 三富敏史 荻木圭  事務局 (市長) 高橋恭市 (市民部長) 木村美文 (国民健康保険課長) 吉田智一 (後期・国保賦課係長) 平野和行 (国保資格給付係長) 能城和也 (主任主事) 平野慶一 (健康づくり課長) 地引憲太郎 (健康づくり係長) 鹿島亜希子
6	欠席者	委員 金井徳彰 竹内修
7	公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
8	非公開の理由	
9	傍聴人数	1人(定員5人)
10	所管課	市民部 国民健康保険課 電話 0439(80)1271
11	会議録(発言の内容)	別紙のとおり

能城係長	(会議前諸連絡) 資料確認等
福原会長	(会長挨拶)
高橋市長	(市長挨拶)
福原会長	<p>それでは早速議事に入りたいと思います。議事につきましては、次第の4になります。議事「報告事項」の欄です。</p> <p>しばらくの間、私が議事進行させていただきますので、よろしくご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、報告事項の「令和4年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
能城係長	<p>(議事) 報告事項 「令和4年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」</p> <p>資料のとおり説明</p>
福原会長	事務局の説明は終わりました。ただ今の説明について、ご質疑等ございますでしょうか。
三富委員	<p>国保制度につきましては超高齢社会に伴いまして、後期高齢者への移行等によりまして、高橋市長ご挨拶いただきましたように、被保険者は減る一方でございます。</p> <p>また、無職や低所得者といった構造的な問題から、保険税が引き上げになるということは、再三この場でも議論してまいりましたが、やはり市民の方から、非常に国保税が大幅に上がったのではないかと、という問い合わせが結構ございまして、それで今ご説明ありましたように8ページに、1人当たりの保険税の記載がございますけども、やはり市民の方は、関心のある方は議事録を見ていらっしゃるんですけど、今後の見通しでいいのですが、今回、令和4年度決算ということで、5年度は反映されておりませんが、もし令和5年度以降の保険税の見通しとかが分かりましたら、ご説明いただければと思います。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
吉田課長	今後の保険税につきましては、5年度に改定したものをまず基本的には3年間継続した中で、8年度以降の保険税につきましては、本年から来年にかけて、保険給付等を見ながら検討をしていきたいというところがございます。
三富委員	まだその正確な数字は申し上げられないというのはよくわかりますけれど、そういった経緯、経過を見ますと、そういう解釈で、下がるってことはないということですのでよろしいですかね。

吉田課長

現時点では、保険税を下げる、据え置く、引き上げるというところは、申し上げられる段階ではございません。

本年2月に開催しました第3回国保連協の中で、中期見通しにおいて3年度の決算見込額を反映させてご説明いたしましたが、先ほど実質収支がマイナス3,700万円程度であるをご報告しましたが、2月の段階では1億3,000万ほどの実質収支マイナスでございました。先ほどご説明差し上げたように、保険税の見込みが5,000万ほど上がったということと、保険給付が7,800万ほど抑えられたというところで、その時点でのものですが、収支の方は、中期見通しで見込んだ段階よりも少し好転している部分があるかと思えます。

ただし、これは4年度の決算までのものがございますので、今後の状況を見据えた中で、検討してまいりたいと思えます。

三富委員

吉田課長ありがとうございました。吉田課長の説明で皆さん被保険者を含めて、よくその議事録を見ていただいて、見通し理解できたと思います。

ありがとうございました。

齋藤茂委員

三富委員のお話と若干関連してくるところではありますが、今年度と当面の3年間のことについてはよく分かりました。ただ、今のままで行ったときに、国民健康保険が果たしてこのまま継続できるのか。

何か1会員として、保険の1加入者として、不安に思うところがあります。

全て上げて対応、そういう方式しか取れないのか。ちょっと国民健康保険の未来について、富津市はどのように考えておられるか。説明あるいは、解説していただければありがたいなと思っております。

吉田課長

今後の保険税率につきましては、今後、千葉県の方で目指すところとしては、同一の保険料を目指すというところがございます。

その時期については、まだ明確化されておりませんが、過年度中に行われた県内の市町村のアンケートの中では、目安として、令和12年度を目安に、そのような保険料の統一を目指していきたいと考えている市町村が多いと伺っております。

本市につきましても、皆さん公平な保険料を負担していただくために、そういったところに関わって、意見を出し合って、検討を進めてまいりたいと思っております。

齋藤茂委員

不安なままで、何かやっぱり難しいところがあるかと思いますが、ぜひとも市なりの、独自の方向性等も含めてそれを県の方に、提言していただくような方向で努力していただければありがたいなと思っております。

福原会長

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。せっかくの機会ですので、どうぞこれはというのがありましたらご遠慮なく。

齊藤千代  
子委員

4ページの特別交付金について、支援分の金額についてですけれども、毎回富津市の取り組みっていうのが評価されて増額になっていますよね。これはやはり、市で取り組んでいることが、それなりに評価されているものだと思いますので、大変良い結果を私達に報告してくださっているなと思います。今後とも、またよろしくお願ひしたいと思います。

それで、そのような状態にあつて、その下の4ページの一番下にある基金の取り崩し額が減額になった。これもやはり、私は良い方向かなと受け止めたんです。

でも、7ページの基金の残高のところを見ますと、今回の令和4年度の方では減額になって、皆さんの努力もあるにも関わらず、令和3年度末と比較すると、残高が少ないというのは、先ほども出ていますけれども、とても難しい問題を抱えているんだなということを改めて思いました。

福原会長

特に回答はよろしいですか。

齊藤千代  
子委員

はい、いいです。

齋藤茂委  
員

今の国民健康保険の基金の繰入金、単純に今までよりも繰入金の方が多くなった。

これは増額した分なのでしょうか、結論的には。保険税の増額によって、こういうものが生み出されたもの、と考えてよろしいでしょうか。

このあたりは、どういう形でこの基金の方にそのお金が回っているのか、そのあたりが分かればありがたいです。

吉田課長

基金につきましては、前年度の繰越金から、翌年度に県に返さなければならぬ負担金を差し引いて、残った金額をまず基金に積み立てを行っております。

そこから、その当該年度で保険給付から算定された、県に納付をする金額に対して、皆様からお預かりした保険料が均衡関係にあるのですが、その足りない部分、不足する部分を基金から補って財政運営をしているところでございます。

当然その納付金に見合った保険料を皆様からご負担していただく形になると、保険税の相当分を引き上げて皆様からご負担していただくかなければならなくなってしまうので、その部分について基金から補うことで、皆様の負担が大きくなるように、今運営をしているところが、現段階でございます。

福原会長

分かりました。今、事務的にはそのような形で国保の運営をされていますけれども、委員の方についてはそこまで深く入ることができない。昨年度の繰り越しがあつて、本年度の収支を見て、基金の残高が増えたり減ったりするという。そういう考えでおそらく委員の方もいると思います。

説明の中であつたように、国保事業は決算があつても県への返還金と

か、様々な私どもでは分からない面があるので、そこら辺の説明も受けました。

ただそこら辺が、委員の皆さんにとっては、なかなか理解ができないところだと、私は思っているのですが。

これで齋藤茂委員いかがでしょうか。

齋藤茂委員

会長さんのお話を伺って、なるほどなというところが領けました。

説明した課長さんの方から丁寧にやったださったのですが、ちょっと分かりづらいところでした。ありがとうございます。

福原会長

理解はしているんですけども、そう細かなものまで、委員の方々についてはなかなか理解、解読できないという面があっおそらく委員から発言があったと思いますので、これからについても、この委員会については、そういう面を含めて協力していただけたら、なおよろしいと思いますので、お願いいたします。

その他、委員の皆さんいかがでしょうか

高梨委員

私、今年委員になったばかりで根本的なことがわかっていないので申し訳ないのですが、例えば国民健康保険税なんて9億ですよ。それと、繰入金だって5億、県支出金が41億と書いてありますよね。この1ページで。それと8ページのところで1人当たりの保険税が9万3,867円で、給付費が37万3,002円であると。

これ全然お金が違うのですが、県からの支出金というのは、これは例えば県内の全部の国民健康保険税をプールしたものから、富津市に来るのか。また、そのプールしたものに県から何かの税をプラスして、県支出金というのが富津市に来てるのか、その辺のところはどうなのでしょう。

吉田課長

県支出金につきましては、この2段目にあります普通交付金のところが37億と金額が大きくなっているかと思いますが、この金額については2ページの、2款 保険給付費の見込み額37億。基本的にはこの保険給付をした部分について、県から交付金来るということで、同程度の金額が補われることとなります。

歳出の3款 国民健康保険事業納付金、ここの金額は13億ございますが、この部分に対して、1ページの1款 国民健康保険税で受けた部分を納付する、というような関連性がございます。

高梨委員

私の質問は、県の中身について質問させていただいたのですが、この富津市に来る38億というお金は千葉県内の国保税を足したものを、支出に合わせて分配すれば、それで足りるのか。国保税だけで賄っているのか。また、もっと他から税金をたくさんつぎ込んでいるのか。その辺をお伺いしたいなと思います。

これは県の問題になってしまうので、お答えできなければ、それで仕方がないのですが。

吉田課長

失礼しました。この県から支出する財源につきましては、今、委員か

らありました、各市町村から上がってきたその保険税に加えて、国からの負担額、これも入っていることとなります。

高梨委員        それでは結論としては、県内の各市町村の国保税と、国からの補助金を足して運営しているということによろしいでしょうか。

吉田課長        その通りでございます。

高梨委員        どうもありがとうございました。

福原会長        他にいかがでしょうか。他にございませんか。

                   それでは出席されている委員については質疑、意見がないようですので、次に本日欠席されている委員からの意見等がございましたら、事務局に報告を求めます。

能城係長        事務局から報告いたします。  
                   本日欠席されている2名の委員の方に、事前に会議資料を送付し、ご意見やご質問がないか照会させていただいたところ、本日欠席の全ての委員からご意見やご質問がなかったことをご報告いたします。

福原会長        ありがとうございました。  
                   それでは、「令和4年度富津市国民健康保険事業特別会計決算見込について」は、報告のとおりといたします。

                   議事については以上であります。委員の皆様から、他に何かご意見等ございますでしょうか。

                   ないようですので、次に、次第の5「その他」ですが、事務局から何かございますか。

平野係長        (次回協議会について連絡)

福原会長        確認のため繰り返します。予定では11月ということによろしいですね。

平野係長        はい、11月頃開催を予定しております。

福原会長        わかりました。事務局はその他ございませんか。

平野係長        事務局からは以上となります。

福原会長

それでは委員の皆さん、あるいは事務局も意見がないようですので、  
以上をもちまして、令和5年度第2回富津市国民健康保険事業運営協議  
会を閉会といたします。

ご協力ありがとうございました。

(閉会 14 : 45)